

認 定 書

国 住 指 第 1 6 4 9 号
令和元年 9 月 24 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-5008
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂塗装紙壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

合成樹脂塗装紙壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 \pm 0.5以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	1500.0 \pm 150.0以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>合成樹脂塗装紙壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 5.0\pm0.5mm以下 ・質量 1500.0\pm150.0g/m²以下(有機質量192.0\pm19.2g/m²以下) ・構成 <ul style="list-style-type: none"> [1]化粧 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 1220.0\pm122.0g/m²(固形量)以下(有機質量32.0\pm3.2g/m²以下) ・構成 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> (1)合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 1190.0\pm119.0g/m²(固形量)以下(有機質量30.0\pm3.0g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1, ※8} …30.0\pm3.0以下 (但し、ポリエステル系の場合は23.3\pm2.3以下とし、 [1]化粧の有機質量を25.3\pm2.5以下とする) (合成樹脂^{※1}の中に有機質系添加剤^{※2}を0～8.0\pm0.8含む) 無機質系材料^{※3}無機質系充てん材^{※4}0～1160.0\pm116.0 (但し、無機質系添加剤^{※5}を0～116.0\pm11.6含む) (2)印刷インキ <ul style="list-style-type: none"> ・質量 30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂インキ^{※6} …20.0\pm2.0以下 (但し、ポリエステル系の場合は16.0\pm1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0\pm1.0以下とする) 無機質系充てん材^{※4}、無機質系顔料^{※4}、無機質系添加剤^{※5} …0～10.0\pm1.0 (3)なし

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[2]主素材^{※7}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 3.0\pm0.3mm以下 ・質量 280.0\pm28.0g/m²以下(有機質量160.0\pm16.0g/m²以下) ・構成 (1)又は(1)と(2)の組合せ又は(1)～(3)の組合せとする <p>(1)上層紙^{※8}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 280.0\pm28.0g/m²以下(有機質量160.0\pm16.0g/m²以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <p>1)有機質 ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …160.0\pm16.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}38.4\pm3.8以下とし、かつ有機質量を128.0\pm12.8以下とする。)</p> <p>② { 合成樹脂^{※1,※8}…21.7\pm2.2以下 (但し、有機系添加剤^{※2}を0～5.0\pm0.5含む) 有機繊維^{※9} …115.0\pm11.5以下 (但し、合成樹脂^{※1,※8}を使用する場合、有機質量を116.0\pm11.6以下とする。有機繊維^{※9}として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※10}は1.0\pm0.1～42.4\pm4.2とする。)</p> <p>2)無機質 ①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <p>①無機質系充てん材^{※4} …0～120.0\pm12.0</p> <p>②無機質系繊維^{※11} …0～120.0\pm12.0</p> <p>(2)下層紙^{※8}</p> <p>I)、II)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>I)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 150.0\pm15.0g/m²以下(有機質量100.0\pm10.0g/m²以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <p>1)有機質 ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …100.0\pm10.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}24.0\pm2.4以下とし、かつ有機質量を80.0\pm8.0以下とする。)</p> <p>② { 合成樹脂^{※1,※8}…13.6\pm1.4以下 (但し、有機系添加剤^{※2}を0～2.5\pm0.3含む) 有機繊維^{※9} …72.0\pm7.2以下 (但し、合成樹脂^{※1,※8}を使用する場合、有機質量を73.0\pm7.3以下とする。有機繊維^{※9}として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※10}は1.0\pm0.1～26.2\pm2.6とする。)</p> <p>2)無機質 ①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <p>①無機質系充てん材^{※4} …0～120.0\pm12.0</p> <p>②無機質系繊維^{※11} …0～120.0\pm12.0</p> <p>II) なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3)主素材接着剤^{※8}</p> <p>I)、II)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>I)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$30.0_{\pm 3.0}/\text{m}^2$以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <p>1)有機質:①～⑤のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①エチレン酢酸ビニル系樹脂 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ②酢酸ビニル系樹脂 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ③でん粉系糊 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ④酢酸ビニル・アクリル系樹脂…$25.0_{\pm 2.5}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 2.5_{\pm 0.3}$含む) ⑤アクリル系樹脂 …$24.0_{\pm 2.4}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 2.5_{\pm 0.3}$含む) <p>2)無機質 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※5} …$0\sim 30.0_{\pm 3.0}$</p> <p>II)なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチレン系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、ワックス系、ニトロセルロース系、エチレングリコール系、マレイン酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:有機質系添加剤は、発泡剤(アゾジカルボンアミド系、オキシビスベンゼンスルホニルヒドラジド系)、防かび剤、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系材料は、シリカ、ひる石、ゼオライト、けい藻土、マカ、ガラス、クレ、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとする。形状は、粉体、粒子、はく、シート、糸状のいずれかとする。</p> <p>※4:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコール系、ポリエステル系、ポリエチレン系、アクリルスチレン系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7:主素材は、紙、無機質紙、不織布(non wovenpaper)のいずれかとする。</p> <p>※8:アゾ系、キノ系染料、又はアゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※9:有機繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュブラ、アセテート、セルロース系繊維、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリテン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリビニルアルコール、ポリウレタン、ポリエチレンのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※11:無機質系繊維は、金属繊維、ガラス繊維、炭素繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする</p>

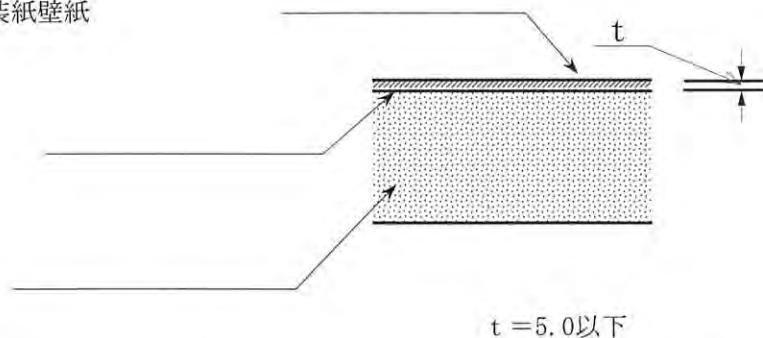
項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]でん粉系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり $\dots\dots\dots 80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※12 $\dots\dots\dots 20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂※13 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ 以下) <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]または[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]メチルセルロース系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ 以下) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース $\dots\dots\dots 80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※12 $\dots\dots\dots 20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂※13 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ 以下) <p>※12：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする</p> <p>※13：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、またはシーラーなしとする</p>
基 材	<p>不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図 (寸法単位：mm)

1) 表面化粧材：合成樹脂塗装紙壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基 材：不燃材料※



※平成12年建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料とする。ただし、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの